

ソーシャルデータサイエンス研究所の活動内容について

～データ駆動型研究の地域拠点を目指して～

ソーシャルデータサイエンス研究所

○所長・教授 きむら しん
木村 真

キーワード

データサイエンス、自治体データ利活用、データ駆動型研究、DX 推進、EBPM



研究概要

急速な社会の情報化が進むなか、自治体等が抱える政策課題や社会的要請に対してデータサイエンスのアプローチで挑む研究機関として 2025 年 4 月に新たに設置されました。兵庫県の自治体等と連携して現在抱える政策課題や保有する情報を共有し、それらを活用したデータ駆動型研究を行うとともに、地域経済分析等に広く活用できるデータ基盤の構築を行います。また、研究成果を広く共有し、関係機関の情報化と政策分析を支援していきます。

◆ 活動の柱

具体的には、次の 4 つを活動の柱として参ります。

- ① 大学および自治体等のシンクタンク機能（研究所への協力依頼）
- ② 自治体等が保有するデータを活用した研究（研究所からの協力依頼）
- ③ 共同研究・共同開発
- ④ 自治体職員の人材開発・交流拠点（データ分析等のセミナー実施、客員研究員としての調査研究）

◆ 体制（7 月 15 日時点）

- ・研究・運営に従事する研究者 4 名：木村真所長、竹村匡正教授、川向肇准教授、古隅弘樹准教授
 - ・地域経済分析アドバイザー 1 名：芦谷恒憲特任教授
 - ・運営に参画する委員 2 名：田島喜美恵准教授、和田真理子准教授
- ※社会情報科学部、情報科学研究科、国際商経学部、社会科学部研究科の協力で運営されています。

◆ 所在地：神戸商科キャンパス研究棟 1 / 連絡先：078-794-5302

◆ 連携協力研究機関

兵庫県（企画統計課、企画部デジタル戦略課、東播磨県民局総務企画室）、明石市政策局、ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究戦略センター、アジア太平洋研究所数量経済分析センター、国立社会保障・人口問題研究所人口構造研究部、関西学院大学産業研究所、兵庫大学附属総合科学研究所、姫路商工会議所姫路経済研究所

アピール ポイント

＜現在進行中の研究プロジェクト＞

現在、いくつかの研究プロジェクトが始動しています。以下はその一部です。

- ・学内のマイクロデータを使用した教育マネジメントに関連する分析（学内シンクタンク業務）
- ・明石市の子育て政策効果の分析
- ・地域経済動向指標推計（2025 年 7 月、10 月、26 年 1 月予定。アジア太平洋研究所と連携）
- ・兵庫 CLI 月報&データ集作成（関西学院大学産業研究所と連携）
- ・兵庫県統計活用セミナー（兵庫県、県統計協会、環太平洋産業連関分析学会）（26 年 1 月予定）